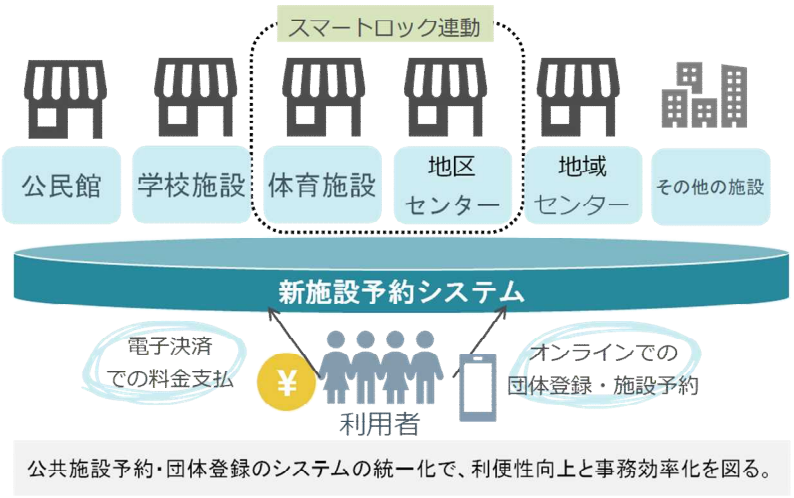
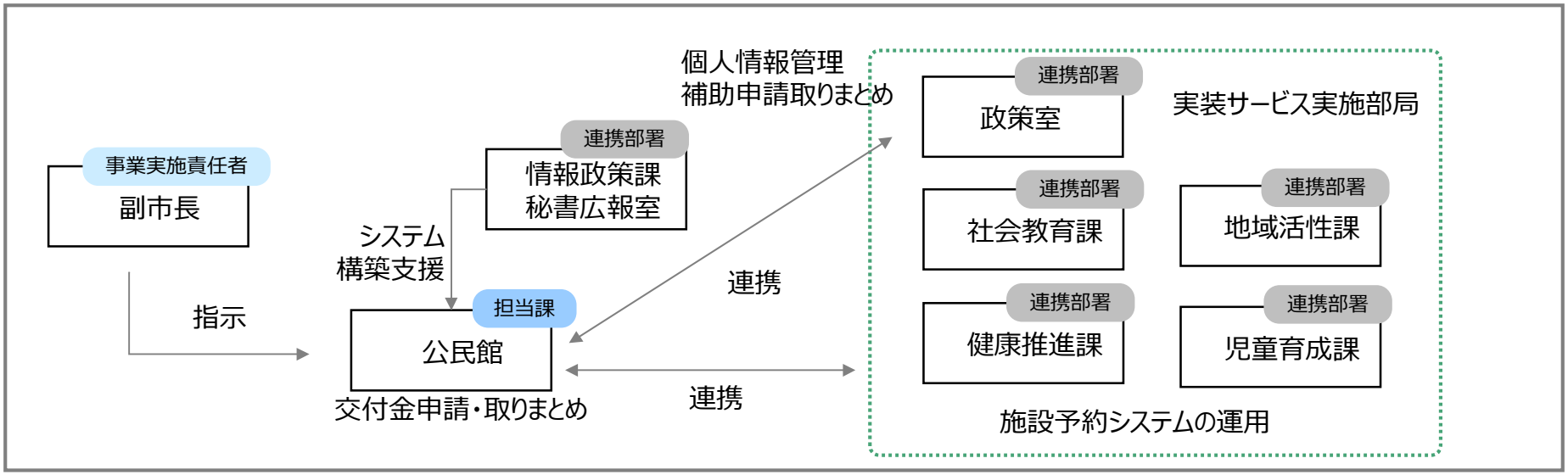
事業概要 【新施設予約システムへの電子決済及びスマートロックの導入等によるDX推進事業】

自治体名	東京都狛江市	人口	82,099人	事業費	32,527千円
事業概要	現在運用している施設予約システムは、予約可能な施設が限られ、申請方法等が統一されておらず、機能を十分に活かせていないので、システムのあり方を大幅に見直す。対象施設の増加や公共施設の申請方法等を可能な限り統一化し、また、電子決済やスマートロックを導入することで、利用者の利便性の向上及び職員の事務負担の軽減を図る。				
具体サービス	新施設予約システムでは、電子決済やスマートロックを導入し、さらに利用者が自宅PCやスマートフォン等を使って、団体登録や各施設の空き状況の確認、施設予約の管理等を行うことができる。またこれを機に、各公共施設の登録要件や運用等の統一化を図ることで、利便性の向上や事務負担の軽減を図る。 本システムを用いることで、団体登録、施設予約、使用料の決済、鍵の受け渡しといった一連のプロセスが、インターネット上で手続き可能となることを目指す。 【新施設予約システム　導入予定施設】 西河原・中央公民館（公民館）、体育施設、学校開放（社会教育課）、あいとぴあセンター（健康推進課）、地域・地区センター（地域活性課）、市民活動支援センター（登録のみ）（政策室）、KoKoA（児童育成課）※下線部は新しく追加される施設		 公共施設予約・団体登録のシステムの統一化で、利便性向上と事務効率化を図る。	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①オンラインによる施設予約件数の割合 ②施設使用料　電子決済比率 ③利用者向け説明会・相談会の実施回数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①学校開放鍵管理委託に係る委託料の減 ②利用者向け満足度調査（アンケート）		

推進体制

■ 庁内の推進体制

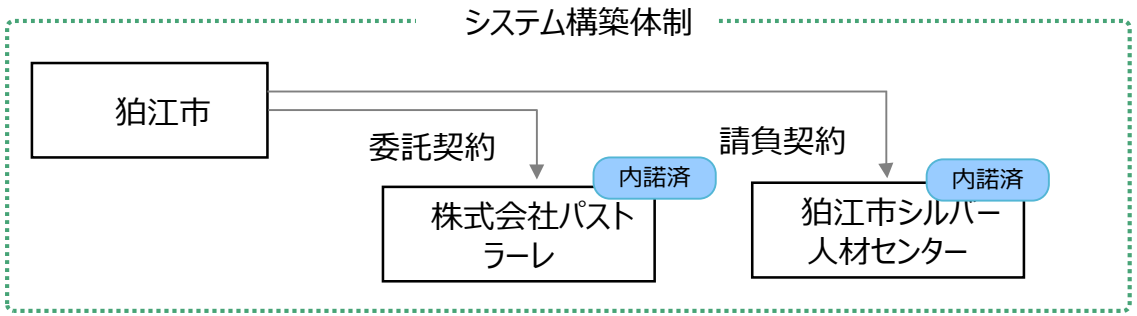


【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	副市長	事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	公民館	システムの調達、関連部署との調整、業務フローの検討、施設予約システムの運用、周知・広報
連携部署	情報政策課 秘書広報室	システム構築支援 システム利用に関する案内や更新情報の周知・広報
連携部署	政策室	個人情報管理、補助申請取りまとめ、業務フローの検討、施設予約システムの運用、周知・広報
連携部署	社会教育課・地域活性課・健康推進課・児童育成課	業務フローの検討、施設予約システムの運用、周知・広報

推進体制

■ 事業推進体制



名称	役割
狛江市	• 事業計画の立案 • 報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括業務内諾済
株式会社パストラーレ	• システム構築、保守、運用、改修等
狛江市シルバー人材センター	• システム利用者への利用支援

名称	役割